

三菱扇風機 サイクル扇

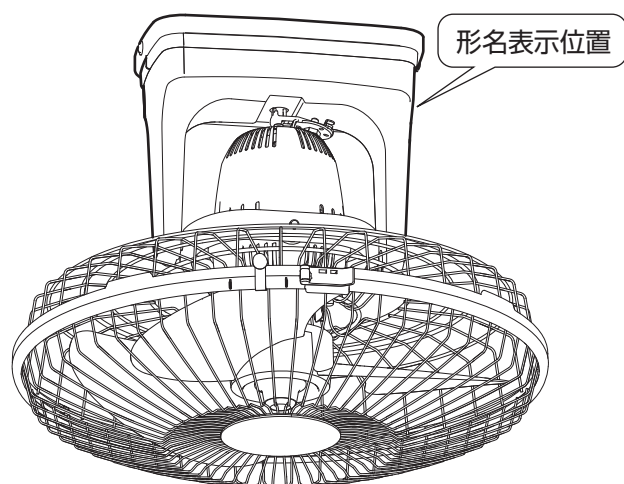
形名

CY30-WD

CY40-WG

据付説明書

販売店・工事店様用



本体の取付けは 70kg の質量に耐えられるところを選んでください

- サイクル扇の速度調節器は別売の専用速度調節器（1 台用 / 2 台用）または FS-5TA4（複数台速調器）を使用してください。

速度調節器組合わせ適用機種

	1 台運転用	2 台同時運転用*	複数台運転用
CY30-WD	CY-301	CY-302	FS-5TA4
CY40-WG	CY-401	CY-402	FS-5TA4

※ 2 台運転時は必ず同じ形名のサイクル扇 2 台で使用してください。

- 取付けの前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
- 取付けは、販売店・工事店様が実施してください。（お客様自身で工事しないでください）
- 電気工事は有資格者である電気工事士の方が実施してください。（無資格者の電気工事は法律で禁止されています）
- 試運転まで足場は取りはずさないでください。

もくじ



	ページ
安全のために必ず守ること	2
各部のなまえと外形寸法図	3 ~ 4
組立てかた	5
取付場所の選定	6
取付けの手順	7
本体取付板の取付け	8 ~ 9
ワイヤーロープの取付け	10
本体の取付け	11
速度調節器の取付けと結線方法	12 ~ 13
試運転	14
使いかた	14
定期点検	15
取付チェックシート	裏表紙
試運転チェックシート	裏表紙

取付け終了後は必ず別冊の「取扱説明書」とこの説明書をお客様、または施工管理者にお渡しください。

安全のために必ず守ること





誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。




 <h2>警告</h2>	 <h2>注意</h2>
誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

 禁止	 接触禁止	 指示に従い必ず行う
 分解禁止	 水ぬれ禁止	

警告

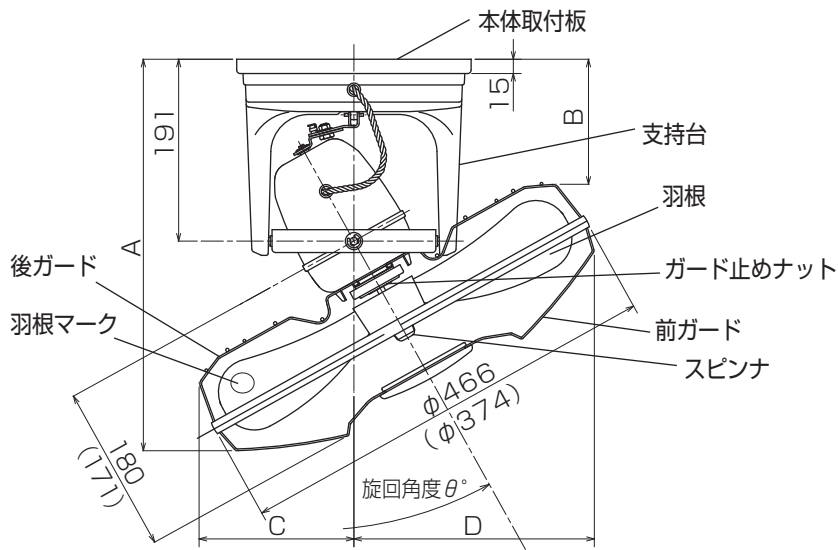
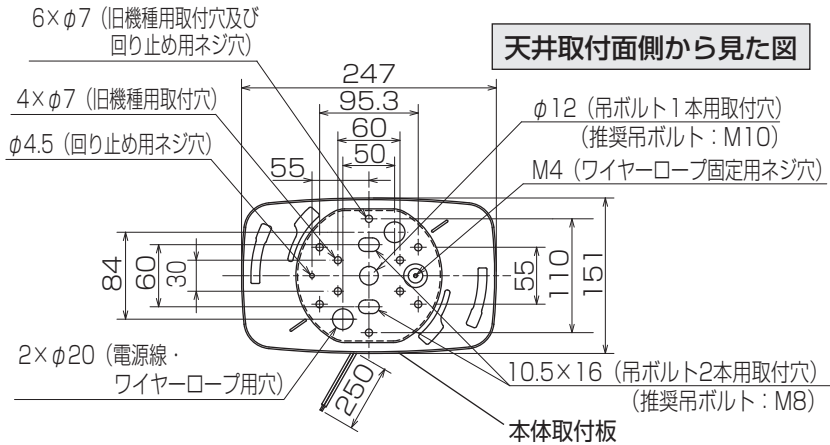
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●速度調節器および本体は指定の組合わせ以外で使用しない (発煙・発火の原因) ●1台運転用の速度調節器に2台以上のサイクル扇をつながない (速度調節器の発煙・発火の原因) ●2台運転用の速度調節器に3台以上のサイクル扇をつながない (速度調節器の発煙・発火の原因) ●つぎのところでは使わない (本製品は一般家庭用です) <ul style="list-style-type: none"> ・浴室・温室・ビニールハウスなど湿度の高いところ ・雨や水しぶきのかかる場所 ・40℃以上の高温になる場所 ・綿ぼこりや砂ぼこりの多い場所 ・常に10℃以下になる低温な場所 ・引火性ガスのある場所 ・厨房・工場内など油のつきやすい場所 ・塩害・温泉害の発生している場所 ・有機溶剤を使用している場所 ・直射日光等、強い紫外線の当たる場所 (感電・火災・破損・故障の原因) ●電源コードおよびワイヤーロープはモーターの渡り線の貫通穴から出さない (火災・感電の原因) ●電源コードおよびワイヤーロープはモーターの渡り線に接触させない (火災・感電の原因) ●羽根・ガードをつけずに運転しない (けがや発煙・発火の原因) 	 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●製品を水につけたり、水をかけたりしない (ショート・感電の原因)
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●改造や必要以上の分解をしない (火災・感電・けがの原因) 	 指示に従い必ず行う	<ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因) ●速度調節器はサイクル扇本体と必ず直列に接続する (火災・感電の原因) ●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因) ●製品の取付け・組立ては据付説明書どおりに行う (火災・感電・落下によるけがの原因) ●本体の取付けは70kgの質量に耐えられる場所を選んで、確実に取付ける (落下によるけがの原因) ●本体に異常な振動が発生した場合は使用を中止する (落下によるけがの原因) ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に設置する場合、取付ネジやボルトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付ける (漏電した場合に発火の原因) ●点検の際は、必ず分電盤のブレーカーを切る (通電状態で感電やけがの原因) ●包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管する (誤ってかぶった時に窒息し、死亡の原因)

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●振動や衝撃の大きいところでは使わない (落下によるけがの原因) ●包装箱を引きずらない (床に傷が付く原因) ●壁面、床面や傾いた天井面には取付けない (故障の原因) ●本体や速度調節器などにぶらさがらない (落下によるけがの原因) ●風を長時間、体にあてない (健康を害する原因) ●ガードにハンガーや衣類などを掛けない (本体やガードが落下し、けがの原因) 	 指示に従い必ず行う	<ul style="list-style-type: none"> ●取付け・点検の際は手袋を着用する (着用しないとけがの原因) ●製品の組立てや取付けは各部品を確実に締め付ける (落下によるけがの原因) ●取付けや点検のときは、安定した台などを用意して、平らなところや異物のないところで行う (転倒し、けがの原因) ●ワイヤーロープは必ず取付ける (落下によるけがの原因) ●本体止めネジは必ず取付ける (落下によるけがの原因) ●ガードの脱着、旋回角度の調節は必ず運転を停止させて行う (けがの原因) ●金属クリップは必ず取付ける (落下によるけがの原因)
 接触禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●ガードの中や可動部へ指や物などを入れない (けがの原因) 		

各部のなまえと外形寸法図

本体



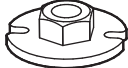










※図はCY40-WGを示します。()寸法はCY30-WDを示します。

変化寸法表 (参考)

単位(mm)

形名	旋回角度	A	B	C	D
CY30-WD	0°	362	229	187	187
	30°	376	200	164	209
	60°	396	158	124	220
CY40-WG	0°	371	229	233	233
	30°	391	182	210	252
	60°	418	132	158	255

付属部品

固定金具……………1個 	ナット (M10) ……3個 
リングスリーブ…2個 	平座金 (M10) ……1個 (M4) ……2個 
バネ座金 (M10) ……1個 	木ネジ (20L、45L) ……各2本 
ワイヤーロープ…1個 (約1m) 	ワイヤークリップ ……1個 
バネ座金 (M5) ……1個 	ワイヤーロープ取付ネジ (M4) ……1個 
取付ボルト (M10) ……1個  (ガード保護用の包装材に固定してあります)	

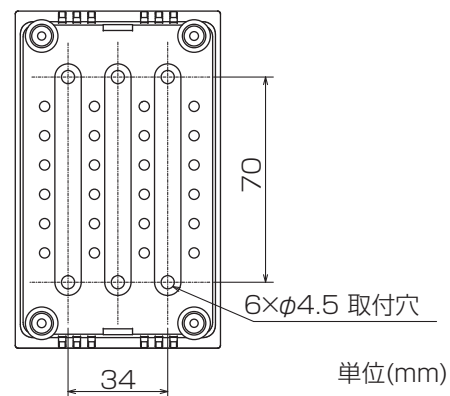
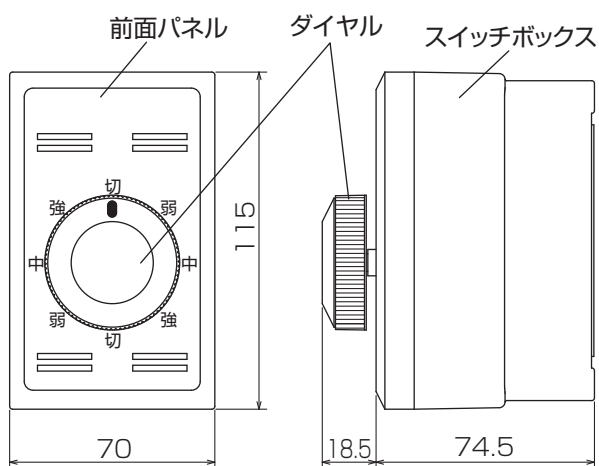
※付属部品のボルト、ナット類はM10ボルト1本取付け用の数量を同梱しています。その他の取付方法で使用するボルト、ナット類は工事店様で用意してください。

各部のなまえと外形寸法図 つづき

速度調節器

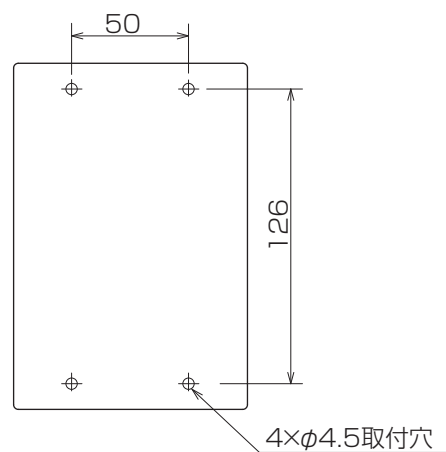
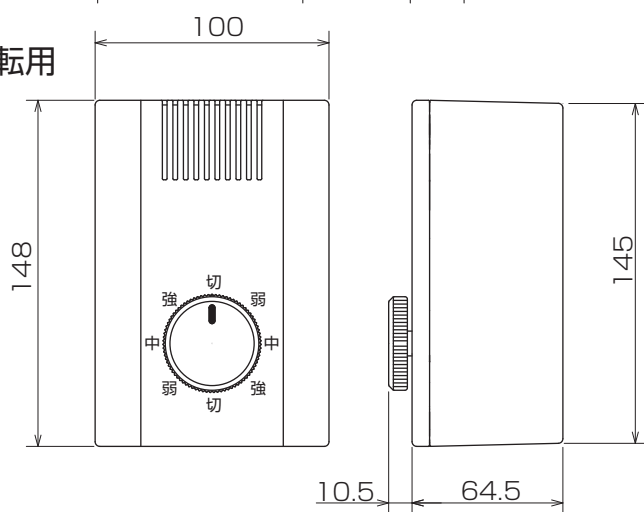
(別売品)

- 1台運転用
CY-301
CY-401



単位(mm)

- 2台同時運転用
CY-302
CY-402



単位(mm)

仕様

(強風の場合)

形名	電圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	質量 (kg)
				本体
CY30-WD	100	50/60	30/37	4.4
CY40-WG	100	50/60	38/47	5.6

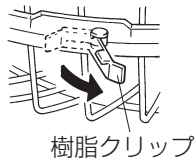
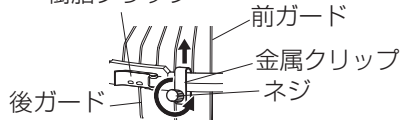
組立てかた

1. 組立てる前に

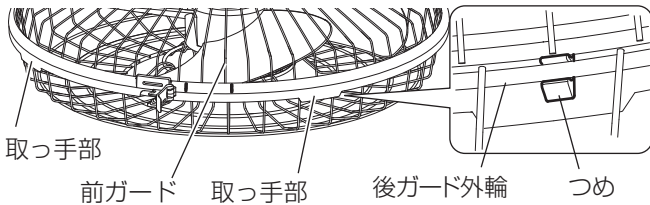
● 次の手順で、前ガードをはずす。

(1) 金属クリップをはずす。 (2) 樹脂クリップをはずす。

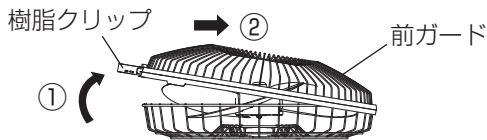
ネジを左に回してはずし、
金属クリップを上にははずす
樹脂クリップ



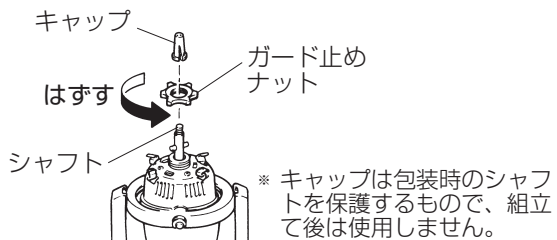
(3) 取っ手部を持って、前ガードのつめを後ガード外輪からははずす。(2か所)。



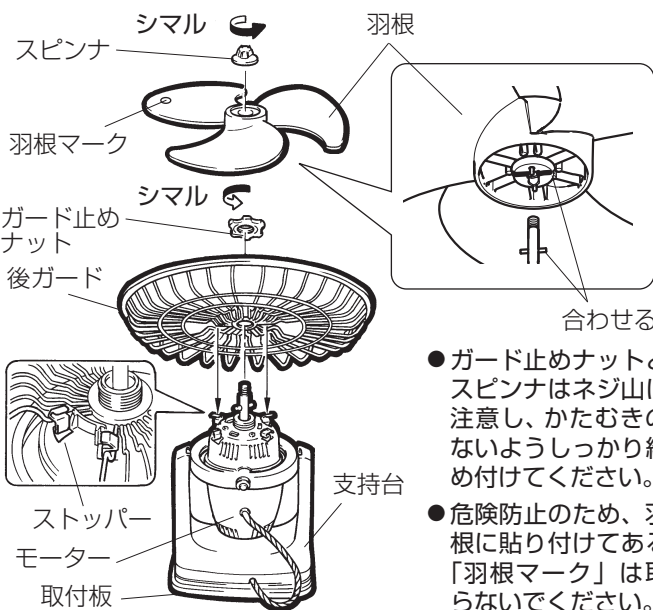
(4) 前ガードの樹脂クリップの反対側に手をそえて、クリップ側を持ち上げながら反対側の方向に力を加えてはずす。



● キャップとガード止めナットを取りはずす。

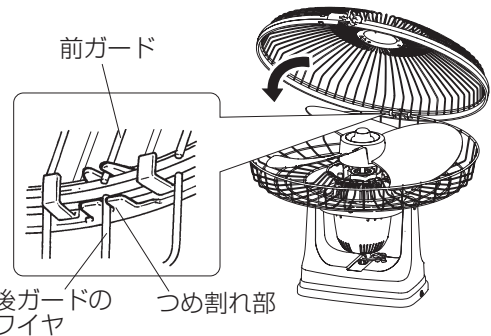


2. 後ガードと羽根を本体に取付ける。

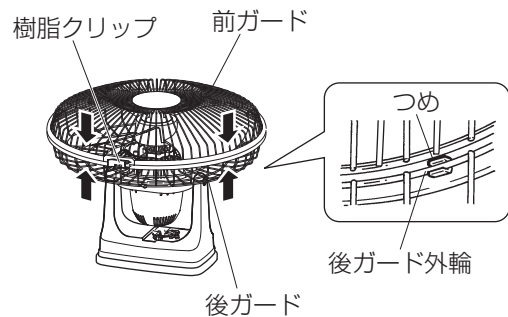


3. 前ガードを取付ける。

(1) 前ガードのつめ割れ部に後ガードのワイヤが入り込むようにひっかける。

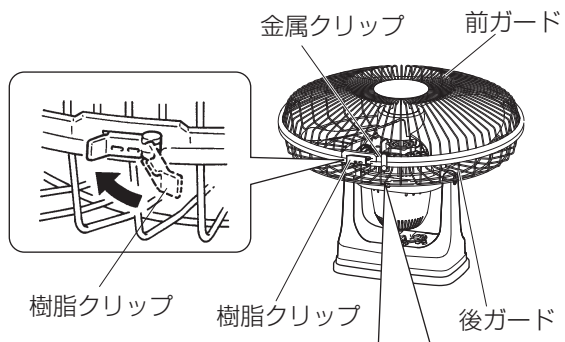


(2) 両手で全周を押さえ、前ガードのつめ(6か所)を後ガード外輪に「パチン」とはめ込む。

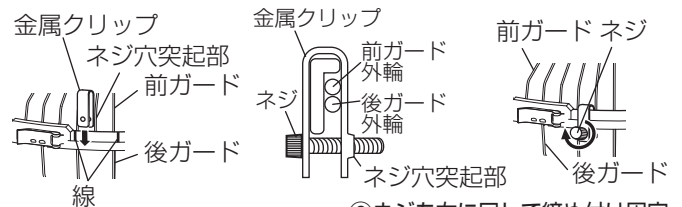


(3) 樹脂クリップをはめ固定する。

(4) 金属クリップを取付ける。



金属クリップの取付けかた





① 前ガード側から樹脂クリップを右側の2本の線の間に差し込む。(ネジ穴突起部を内側にする)

② ネジを右に回して締め付け固定する。(ネジはガタツキがなくなる程度に締め付ける。締め過ぎは破損の原因になります)

取付場所の選定

警告

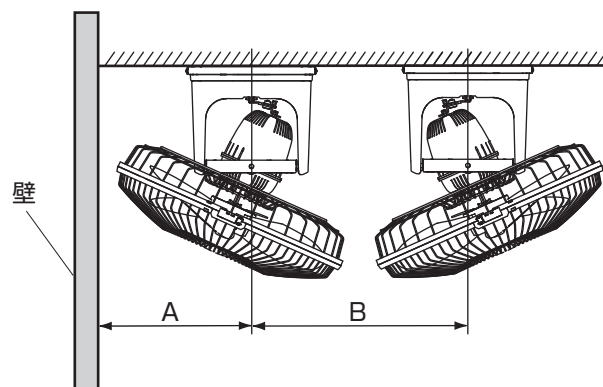
 禁止	● つぎのところでは使わない（本製品は一般家庭用です） ・浴室・温室・ビニールハウスなど湿度の高いところ ・40℃以上の高温になるところ ・常に10℃以下になる低温なところ ・厨房・工場内など油のつきやすいところ ・有機溶剤を使用しているところ （感電・火災・破損・故障の原因）	・雨や水しぶきのかかるところ ・綿ぼこりや砂ぼこりの多いところ ・引火性ガスのあるところ ・塩害・温泉害の発生しているところ ・直射日光等、強い紫外線の当たるところ	・室外
 指示に従い必ず行う	● 本体の取付けは70kgの質量に耐えられるところを選んで、確実に取付ける （落下によるけがの原因）		

- 強度がない場合は、補強してください。
 1. コンクリート造へ取付ける場合（8～10ページ）
 2. 木造住宅の天井へ取付ける場合（9、10ページ）

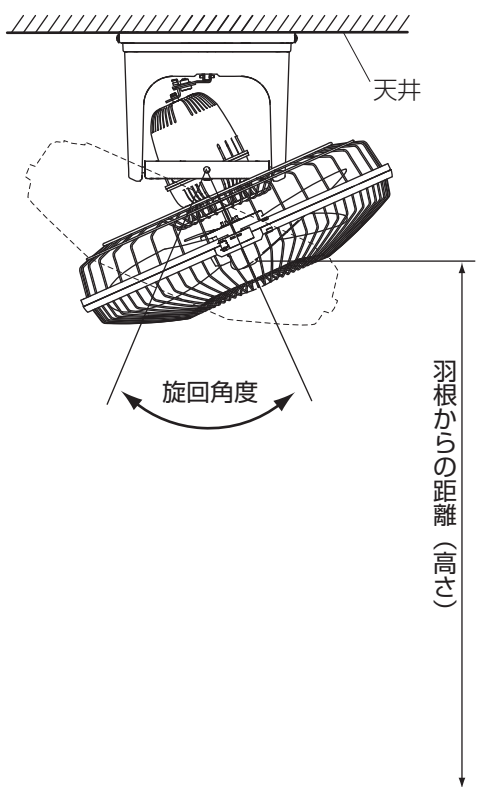
取付位置

- サイクル扇を2台以上取付ける場合、または近くに壁面など障害物がある場合は下表の寸法を守ってください。近づけすぎると、回転したときに壁や隣のサイクル扇に当たり、故障の原因となります。
- 単位 (mm)

形名	A 壁面との距離	B 隣のサイクル扇との距離
CY30-WD	300 以上	500 以上
CY40-WG	350 以上	600 以上



送風範囲



送風範囲(参考)

単位(m)

形名	羽根からの距離(高さ)	送風範囲		
		回転角度0°	回転角度30°	回転角度60°
CY30-WD	1	φ0.9	φ1.9	φ2.4
	2	φ1.3	φ2.6	φ4.1
	3	φ1.6	φ3.7	φ5.5
CY40-WG	1	φ1.0	φ1.9	φ2.8
	2	φ1.4	φ2.8	φ4.3
	3	φ1.9	φ4.3	φ5.6

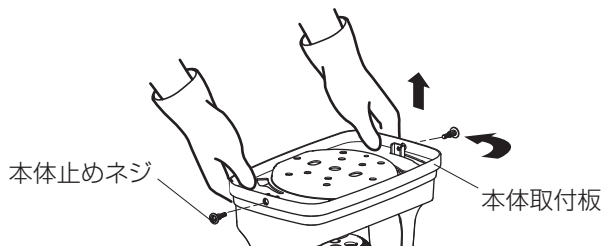
※上記値は、強風(50/60Hz)の値です。

取付けの手順

取付けの準備

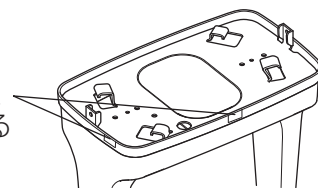
本体から本体取付板をはずす。

- ・ 本体止めネジをなくさないようにしてください。



※露出配線する場合は、電源線とワイヤーロープを通すために支持台の薄肉部をカットする。

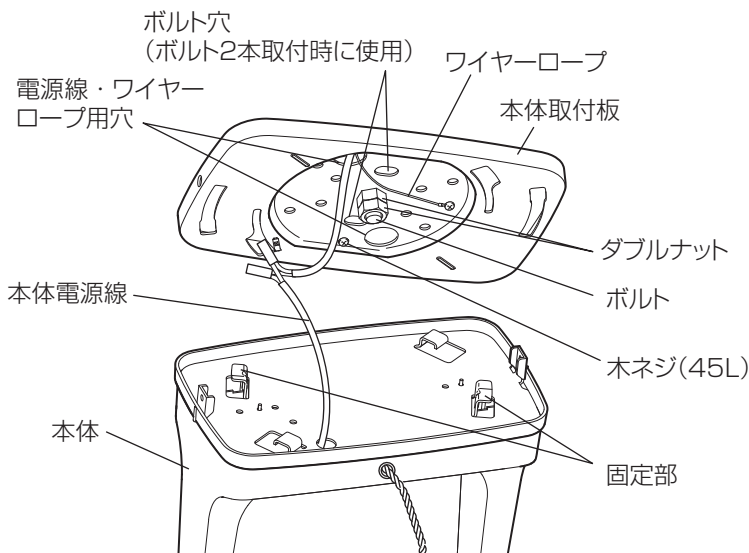
薄肉部 2 か所のうち、どちらかをカットする



取付けの手順

ここでは一般的な作業の流れを説明しています。詳しい取付けかたはそれぞれ下記のページをご覧ください。

- コンクリート造へ取付ける場合：8～10 ページ
- 木造住宅へ取付ける場合：9,10 ページ

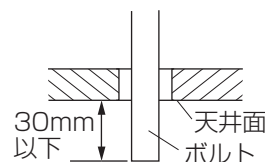


1. 本体取付板を取付ける

(1) ボルト 1 本または 2 本を使用し、ダブルナットで固定します。(8 ページ参照)

- ・ ボルトは付属ボルト (M10)、または市販ボルト (M10 または M8) を使用します。
- ・ ボルト先端の天井面からの出寸法は 30 mm 以下に調整してください。

※ 30 mm 以上出ると本体と干渉し、取付けできません。



(2) ボルト 1 本で取付ける場合は、付属の木ネジ (45L) で回り止めをします。(2 か所)

2. ワイヤーロープを固定する (10 ページ)

- ・ 天井板に、電源線・ワイヤーロープ用穴のいずれかと同じ位置に穴をあけてください。(φ 20)
- ・ 本体取付板に 2 か所ある電源線・ワイヤーロープ用穴のいずれかから天井裏へ通し、構造物に固定します。

3. 本体と速度調節器を電源 (AC100V) に接続する

(本体の結線：11 ページ)

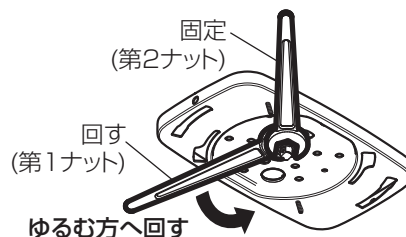
(速度調節器の結線：12～13 ページ)

4. 本体を天井取付板に固定する

(11 ページ)

ダブルナットの締めかた

- ・ 第 1 ナットは吊ボルトが回らないことを確認し、しっかりと締め付ける。(締め付けの際、天井面が変形しないよう注意してください)
- ・ 第 2 ナットも最後まで締め付ける。
- ・ 第 2 ナットをスパナで動かないよう固定し、第 1 ナットをゆるむ方向に回してナットどおしを締め付ける。

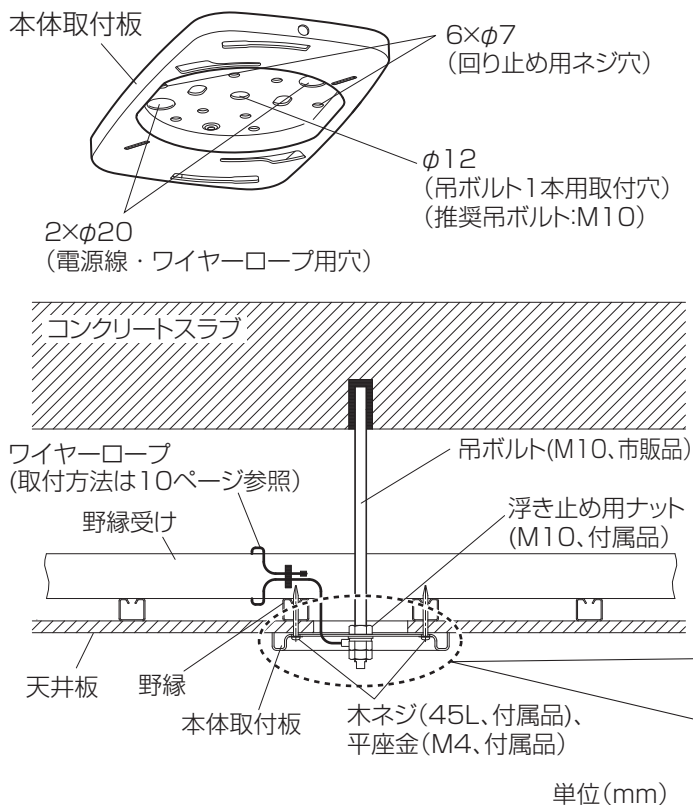


本体取付板の取付け

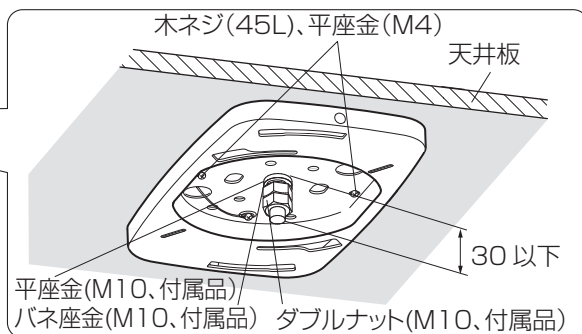
1. コンクリート造へ取付ける場合

施工例 1 吊ボルト 1 本で取付ける

使用する穴位置

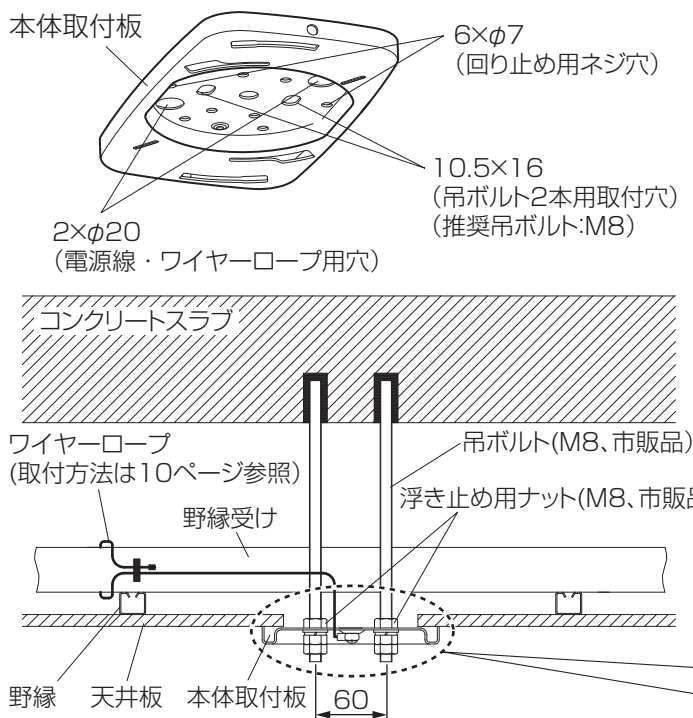


1. 天井板に吊ボルト用の穴と電源線・ワイヤーロープ通し用の穴をあける。
・それぞれ本体取付板の穴位置および穴径に合わせて穴をあけてください。ただし、吊ボルト用の穴は浮き止め用ナットの外形より大きい穴をあけてください。
2. 浮き止め用ナットを入れ、天井面と同じ高さに調整する。
3. 吊ボルトは天井面からの出寸法が 30mm 以下になるようにダブルナットにて調整する。
4. 本体取付板の吊ボルト 1 本用取付穴と吊ボルトの中心を合わせ、平座金・バネ座金・ダブルナットで固定する。(ダブルナットの締めかたは 7 ページ参照)
5. 木ネジ (45L) 2 本と平座金 (M4) 2 個で本体取付板の回り止めをする。取付板のφ7 (6 か所) のうち 2 か所固定する。

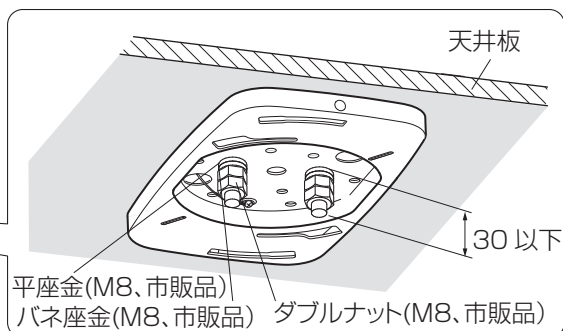


施工例 2 吊ボルト 2 本で取付ける

使用する穴位置

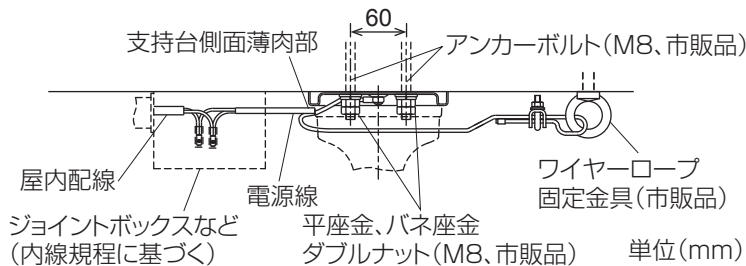


1. 天井板に吊ボルト用の穴と電源線・ワイヤーロープ通し用の穴をあける。
・それぞれ本体取付板の穴位置および穴径に合わせて穴をあけてください。ただし、吊ボルト用の穴は浮き止め用ナットの外形より大きい穴をあけてください。
2. 浮き止め用ナットを入れ、天井面と同じ高さに調整する。
3. 吊ボルトは天井面からの出寸法が 30mm 以下になるようにダブルナットにて調整する。
4. 本体取付板の吊ボルト 2 本用取付穴と吊ボルトの中心を合わせ、平座金・バネ座金・ダブルナットで固定する。(ダブルナットの締めかたは 7 ページ参照)



施工例 3 天井スラブへの取付け

使用する穴位置は **施工例 2** と同じです。



1. 本体取付板の吊ボルト 2 本用取付穴の位置に合わせて、アンカーボルト 2 本を設置する。
2. アンカーボルトは天井面からの出寸法が 30 mm 以下になるように調整する。
3. 本体取付板の穴とアンカーボルトの中心を合わせて、平座金・バネ座金・ダブルナットで固定する。(ダブルナットの締付けかたは 7 ページ参照)

■露出配線する場合 (7 ページの「取付けの準備」も参照ください)



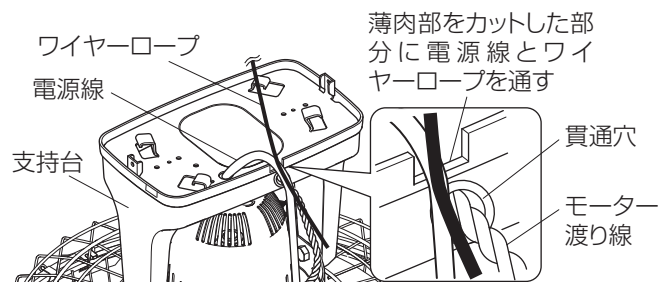
警告



禁止

- 電源コードおよびワイヤロープはモーターの渡り線の貫通穴から出さない
- 電源コードおよびワイヤロープはモーターの渡り線に接触させない (火災・感電の原因)

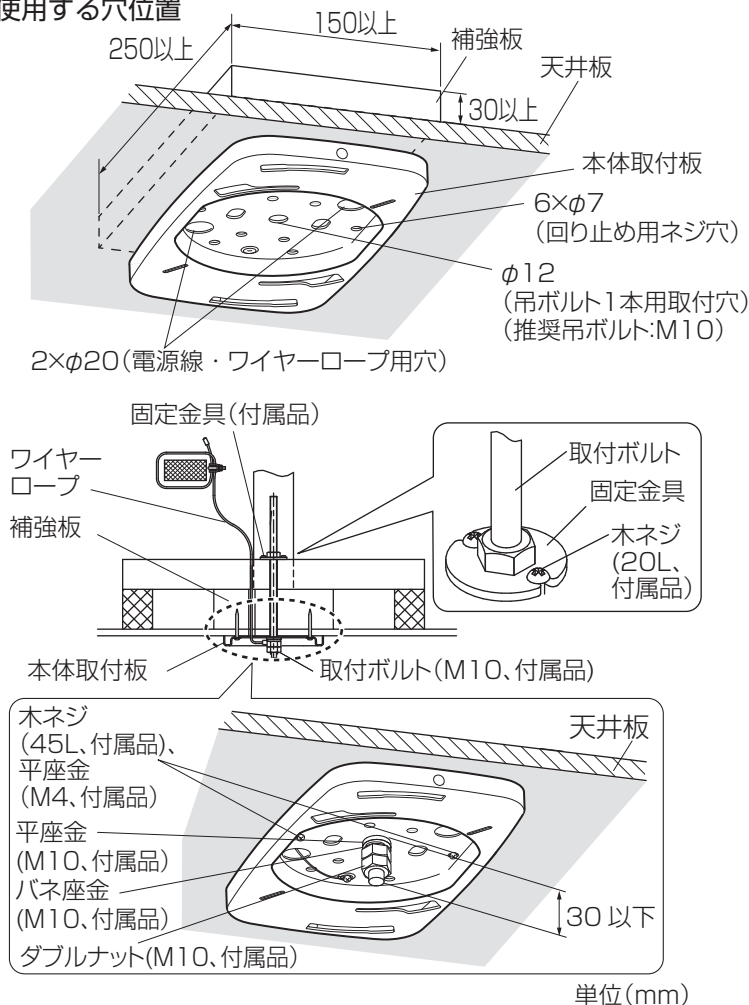
天井スラブへの取付けなど露出配線する場合、本体を天井取付板に取付ける際に右図のように電源線とワイヤロープは薄肉部をカットした部分に通します。(本体の取付けは 11 ページを参照してください)



2. 木造住宅の天井へ取付ける場合

施工例 4

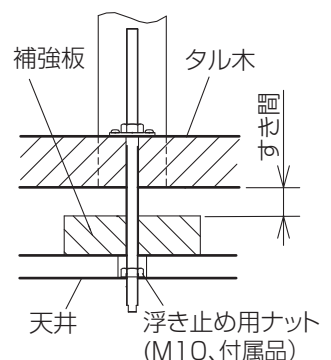
使用する穴位置



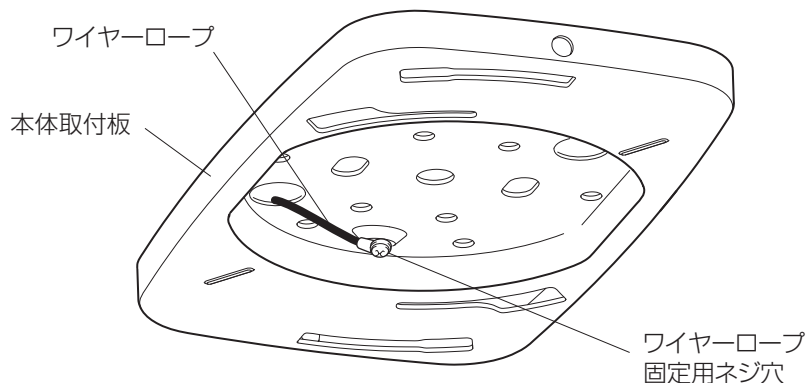
1. 取付ける位置の天井板の裏側に補強板を固定する。補強板は 250 × 150 × 30 (厚さ) mm 以上の大きさが必要です。
2. 天井板および補強板に取付ボルト用の穴と電源線・ワイヤロープ通し用の穴をあける。
・それぞれ本体取付板の穴位置および穴径に合わせて穴をあけてください。
3. 固定金具を木ネジ (20L) 2 か所で固定し、取付ボルト (M10) を通す。
・取付ボルトは天井面からの出寸法が 30mm 以下になるようにダブルナットにて調整してください。
・取付ボルトには方向性がありますので注意してください。(カットしてある側が下です)
4. 本体取付板の吊ボルト 1 本用取付穴と取付ボルトの中心を合わせ、平座金 (M10)・バネ座金 (M10)・ダブルナットで固定する。(ダブルナットの締め付けかたは 7 ページ参照)
5. 木ネジ (45L) 2 本と平座金 (M4) 2 個で本体取付板の回り止めをする。取付板の φ 7 (6 か所) のうち 2 か所で固定する。

タル木と補強板の間を埋めることができない場合

天井面と同じ高さで付属のナットを入れてください。(本体取付板をナットで締め付ける際、天井板が上へ変形し破損する原因)



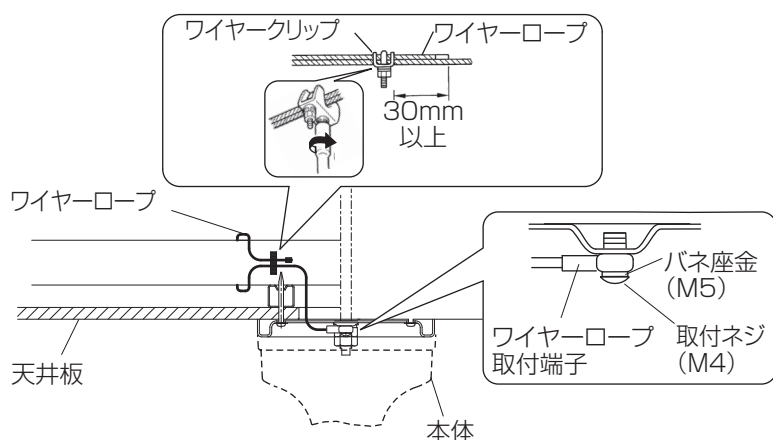
ワイヤーロープの取付け



1. コンクリート造へ取付ける場合

施工例 1

施工例 2



1. ワイヤーロープ取付端子を付属のバネ座金 (M5) と取付ネジ (M4) で本体取付板に固定する。

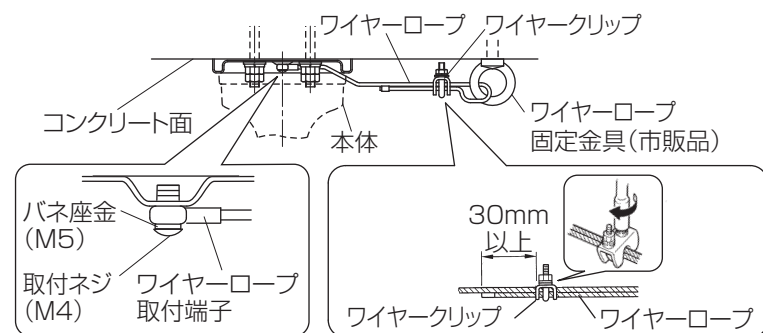
コンクリート造、木造住宅の天井へ取付ける場合 (施工例 1、施工例 2、施工例 4)

- ・ワイヤーロープを電源線・ワイヤーロープ用穴から天井裏へ出し、天井裏の強度のある構造物などに取付けてください。

天井スラブへ取付ける場合 (施工例 3)

- ・ワイヤーロープを支持台側面の薄肉部から引き出しておき、本体取付け後にワイヤーロープ固定金具へ取付けてください。
9 ページ「■露出配線する場合」を参照してください。

施工例 3

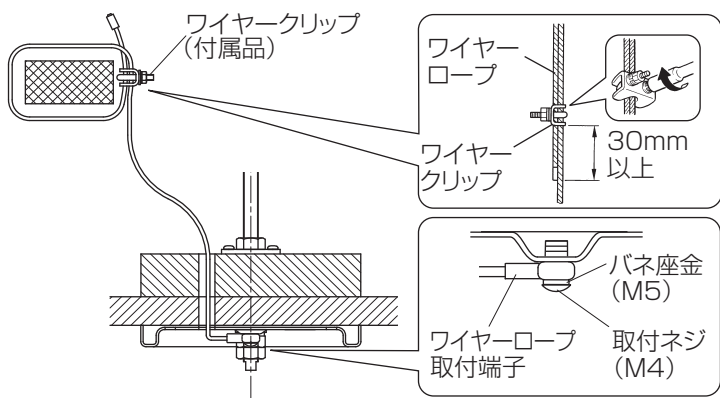


2. ワイヤーロープを付属のワイヤークリップ (1 個) でしっかりと締め付ける。

- ・ボックスドライバー等を用いてワイヤークリップのナットを締め付ける。

2. 木造住宅の天井へ取付ける場合

施工例 4



本体の取付け

警告



禁止

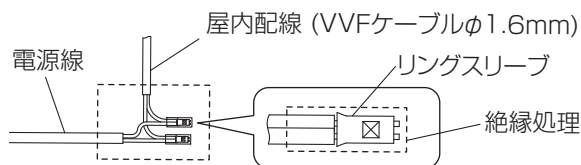
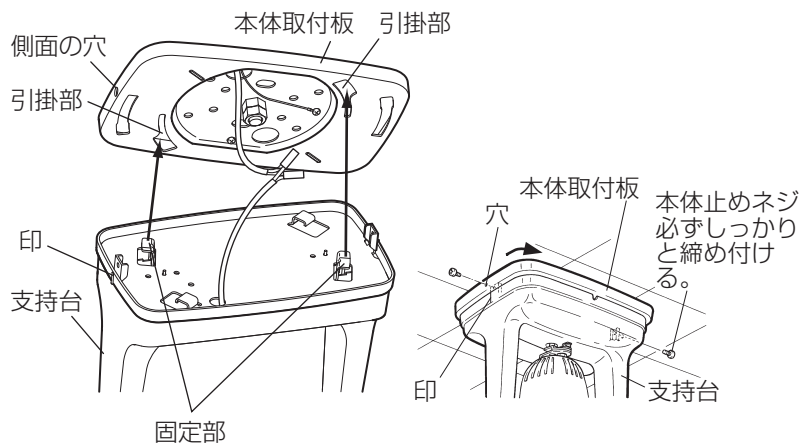
- 電源コードおよびワイヤーロープはモーターの渡り線の貫通穴から出さない (火災・感電の原因)

注意

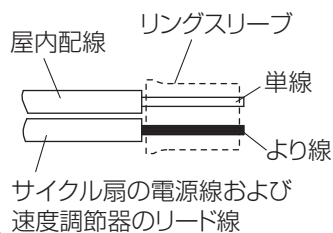


指示に従い必ず行う

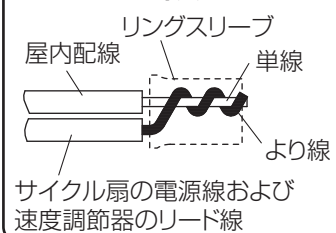
- 本体止めネジは必ず取付ける (落下によるけがの原因)



正



誤



1. 支持台の固定部を、本体取付板の引掛部の穴に差し込み、時計方向に回転させて取付ける。
 ・ 本体取付板の側面の穴 (左、右) と支持台の側面の印 (左、右) が合うまで回転させてください。
2. 取付けの準備 (7 ページ) で取りはずした本体止めネジ (2 本) で支持台と本体取付板を固定する。
 ・ 本体止めネジはしっかりと締め付けてください。(締め付け忘れは本体が落下し、けがをすることがあります)
3. 電源線は屋内配線と付属のリングスリーブで専用工具を用いて接続する。
 専用工具：ニチフ NHE 4

お願い

- ・ 露出配線する場合は、9 ページ「■露出配線する場合」を参照してください。
- ・ 屋内配線は必ず VVVF ケーブル φ 1.6 mm を使用してください。(φ 1.6 mm 以外は付属のリングスリーブに適合しません)
- ・ 屋内配線と電源線および速度調節器のリード線をリングスリーブでかきめる時は単線により線を巻き付けないでください。(より線が断線するおそれがあります)

結線図

(1 台運転用の場合)

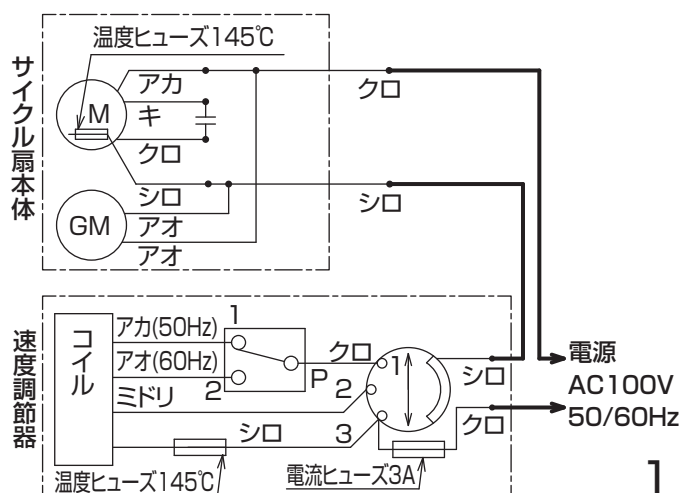
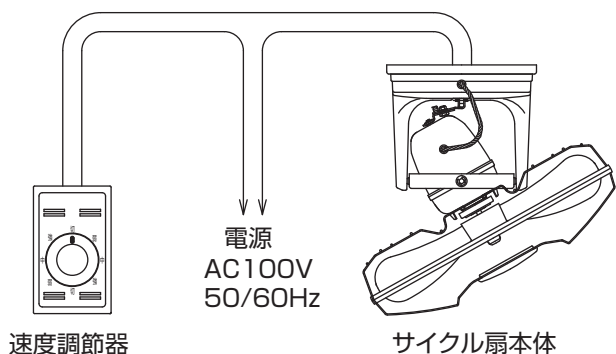
警告



指示に従い必ず行う

- 交流 100V を使用する (直流や交流 200V を使用すると火災や感電の原因)
- 速度調節器はサイクル扇本体と必ず直列に接続する (火災・感電の原因)
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因)

- 配線工事は必ず VVVF ケーブル φ 1.6mm を使用する。
- VVVF ケーブルの長さは 100m 以上にしないでください。
- 200V 電源を接続しないでください。(モーターの温度ヒューズまたは速度調節器の温度ヒューズが溶断し、不動作になります)



速度調節器の取付けと結線方法（1台運転用）

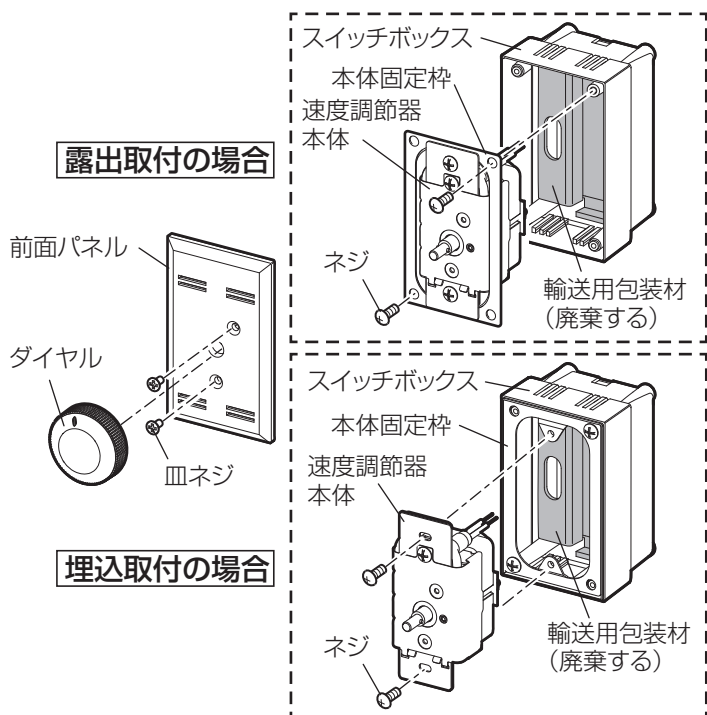
2台同時運転用または複数台運転用速度調節器の取付けは、各製品に同梱の据付・取扱説明書を参照してください。

お願い

- ・速度調節器は磁気の影響を受け易い機器（インターホンのモニターなど）から400mm以上離して設置してください。（速度調節器から若干の磁気が漏れます）
- ・速度調節器は強固な構造物へ取付けてください。（取付ける構造物に強度がないとトランスのうなり音が共鳴するおそれがあります）

取付けかたは露出取付と埋込取付があります。

取付け前の準備



速度調節器本体の取りはずし

1. ダイアルを取りはずす。（引き抜く）
2. 皿ネジ（2本）をはずし、前面パネルを取りはずす。
3. ネジ（2本）をはずし、速度調節器本体を取りはずす。

露出取付の場合：本体固定枠のネジ2本をはずして本体固定枠ごと取りはずす。

埋込取付の場合：速度調節器本体のネジ2本をはずして取りはずす。

お願い

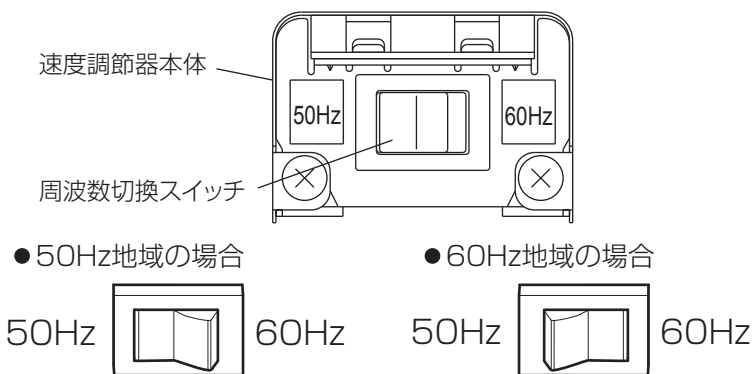
- ・取りはずしたネジはなくさないようにしてください。
- ・スイッチボックスの中に輸送時の保護用包装材が入っていますので必ず取りのぞいて捨ててください。

50Hz-60Hz の選択

取りはずした速度調節器本体の下側に周波数切換スイッチがありますので、ご使用する地域により切り換えてください。

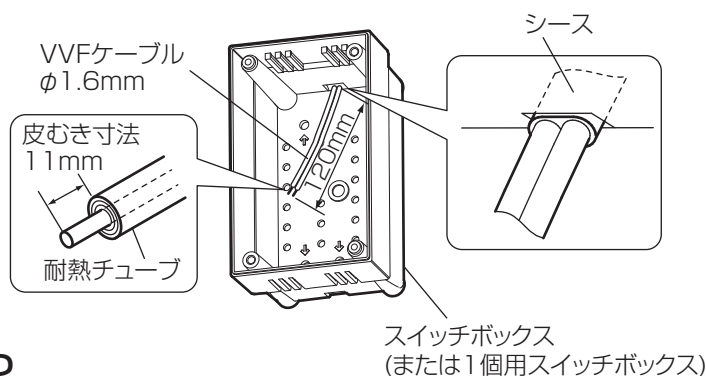
お願い

- ・周波数切換スイッチは50Hzまたは60Hz側に確実にセットしてください。スイッチが中立の状態になると弱風の運転ができません。
- ・60Hz地域で50Hzにセットして運転すると「弱」運転で円滑に旋回動作しない場合があります。



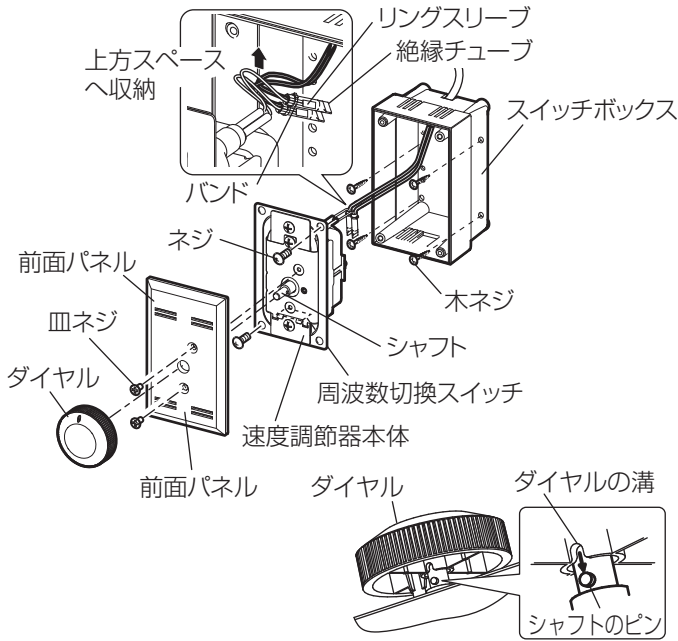
配線の準備

- ・屋内配線はVVFケーブルの線径φ1.6mmを使用してください。（φ1.6mm以外は付属のリングスリーブに適合しません）
- ・VVFケーブルは左図のような長さに調整し、速度調節器内のケーブルのシースをはがす。
- ・ケーブルの皮むき寸法は11mmにしてください。
- ・付属の耐熱チューブをそれぞれのケーブルにかぶせ、ケーブルの長さに合わせて切断する。



速度調節器本体の取付け

露出取付の場合

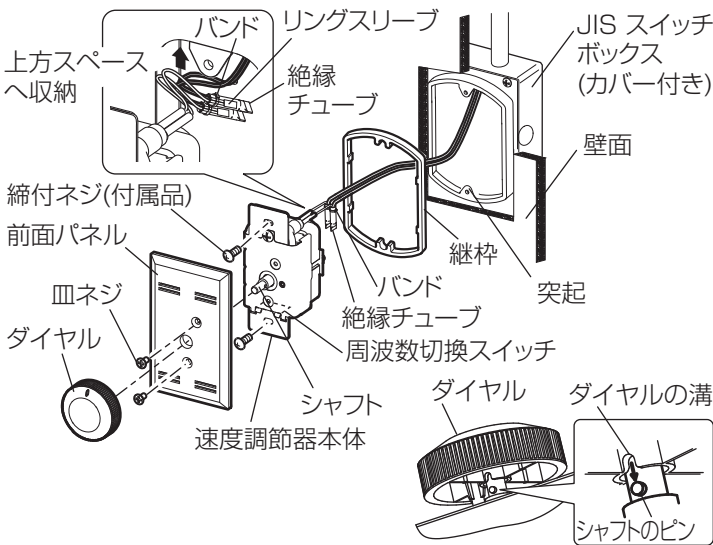


1. スイッチボックスを付属の木ネジ (4 本) で壁などに取付ける。
2. 結線図 (11 ページ) に従い VVF ケーブルと速度調節器本体のリード線を付属のリングスリーブで専用工具を用いて接続する。(11 ページ「本体の取付け」3 項を参照)
3. 付属の絶縁チューブとバンドを用いて絶縁処理をし、スイッチボックス上方のスペースへ収納する。
4. 速度調節器本体を取りはずしたときのネジで本体をスイッチボックスに取付け、前面パネルとダイヤルを取付ける。

お願い

- ・速度調節器本体をスイッチボックスに入れる際、周波数切換スイッチがスイッチボックスに当たるとスイッチが切り換わってしまったり破損の原因になります。必ず周波数切換スイッチの位置を確認しながらスイッチボックスに入れてください。
- ・ダイヤルの溝とシャフトのピンが嵌合していることを確認してください。

埋込取付の場合

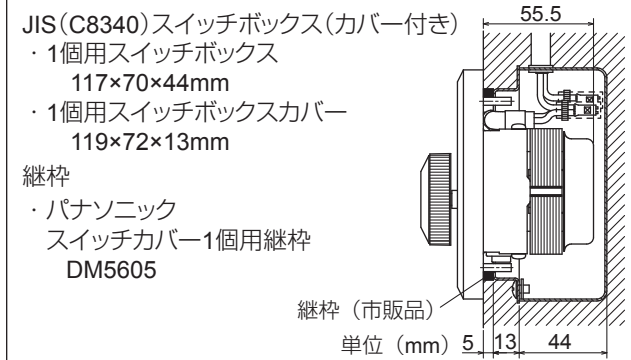


1. あらかじめ市販の 1 個用スイッチボックスを縦長に埋め込む。
 - ・速度調節器本体の埋め込み寸法は 55.5mm ありますので必要に応じて厚さ 5mm の継棒をご使用ください。
2. 「露出取付けの場合」の 2、3 項を参照してケーブル接続および絶縁処理を行う。
3. 付属の縮付ネジ (2 本) で速度調節器本体をスイッチボックスに取付け、前面パネルとダイヤルを取付ける。

お願い

- ・速度調節器本体をスイッチボックスに入れる際、周波数切換スイッチがスイッチボックス口元の突起や継棒に当たるとスイッチが切り換わってしまったり破損の原因になります。必ず周波数切換スイッチの位置を確認しながらスイッチボックスに入れてください。
- ・ダイヤルの溝とシャフトのピンが嵌合していることを確認してください。

参考(埋込用スイッチボックスおよび継棒)



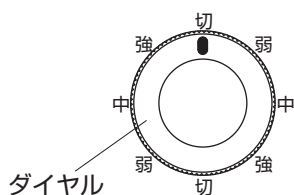
試運転

試運転の前に裏表紙の取付チェックシートにて確認してください。

1. 速度調節器のダイヤルを回して弱、中、強が確実に切り換わるか確認する。
 - 弱が運転しない場合は、周波数切換スイッチが確実に切り換えられているかご確認ください。(12 ページ参照)
2. 異常がないことを確認して、ダイヤルを「切」に回して運転を止める。

使いかた

風量調節のしかた



切…………… 停止
弱…………… 弱風
中…………… 中風
強…………… 強風

速度調節器のダイヤルをお望みの強さに合わせてください。

お願い

- ガード部分をビニール袋などでおおったまま運転しないでください。(ビニール袋を巻き込み、モーターが加熱し、モーター内の温度ヒューズが溶断し、不作動になります)

メモ

下記の現象は故障ではありませんので、そのまま続けて使用してください。

- ・ 弱風、中風では使用中、速度調節器の表面が少し暖かくなります。
- ・ 速度調節器の中にはトランスが入っていますので、多少うなり音がすることがあります。

旋回角度の調節のしかた

注意



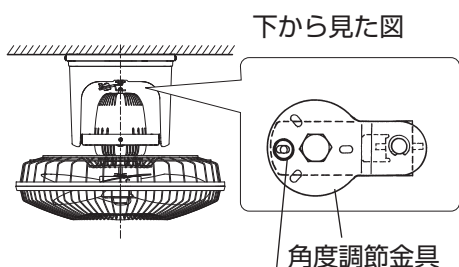
指示に従い必ず行う

- 旋回角度の調節は必ず運転を停止させて行う(けがの原因)

旋回角度調節は、角度調節金具をずらすことで旋回角度 0° (旋回ナシ)・30°・60° の3段階に調節できます。

- 角度を調節する場合は安全のために安定した台を用意して、必ずスイッチを停止「切」にして、羽根の回転が止まってから行ってください。

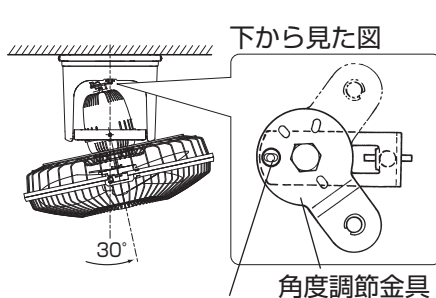
旋回角度 0° (旋回ナシ)



このポイントで止まる

ガードを真下に向ける。

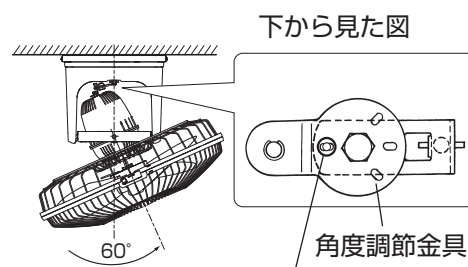
旋回角度 30°



このポイントで止まる

ガードを傾ける。

旋回角度 60°



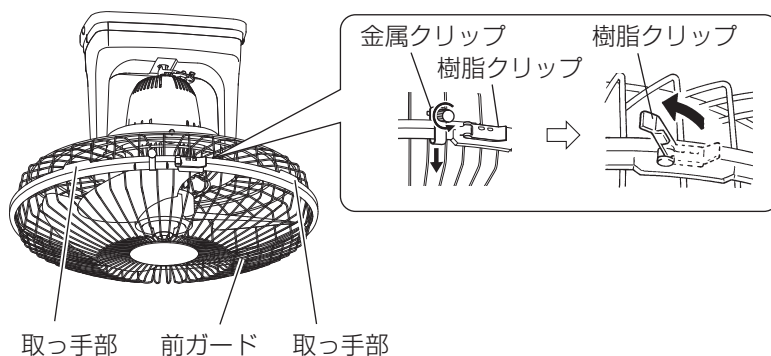
このポイントで止まる

ガードを更に傾ける。

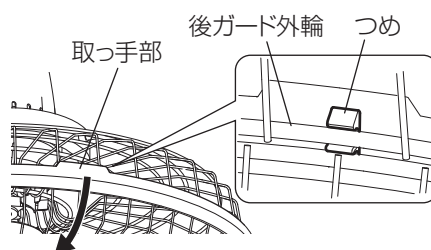
定期点検

各部品のはずしかた

1. 金属クリップをはずす。
2. 樹脂クリップをはずす。

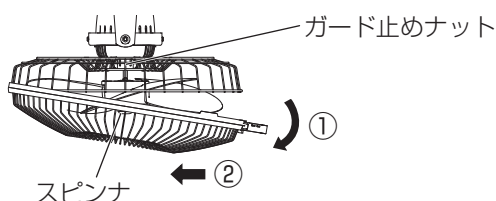


3. 前ガードをはずす。
(1) 取っ手部を持って、前ガードのつめを後ガード外輪からはずす。(2か所)



- (2) 前ガードの樹脂クリップの反対側に手を添えて、クリップ側を下に引きながら、反対側の方向に力を加えてはずす。

4. スピナをゆるめ、羽根をはずす。
5. ガード止めナットをゆるめ、後ガードをはずす。



お客様から点検を依頼された場合は下記の要領で点検を行ってください。

点検か所	点検内容	時期	処 置	参照ページ
本体取付板	取付ボルトのゆるみ	1回/年	ゆるんでいる場合は増締め	7～9
ワイヤーロープ	ワイヤーロープを引っ張り、ロープのゆるみがないか確認	1回/年	ゆるんでいる場合は増締め	10
後ガード	ガード止めナットのゆるみ	1回/年	ゆるんでいる場合は増締め	5
羽根部分	スピナのゆるみ	1回/年	ゆるんでいる場合は増締め	5
樹脂部品	樹脂部品の割れ・ひび		破損の場合は部品交換	
金属クリップ	ネジのゆるみ	1回/年	ゆるんでいる場合は増締め (ガタツキがなくなる程度に締め付ける。 締め過ぎは破損の原因になります)	5

(点検後の組立ては 5 ページ参照)

取付チェックシート

1. サイクル扇本体と速度調節器は適合していますか？
(組合わせ適用機種は表紙参照)
2. 電源はAC100Vですか？
3. 速度調節器とサイクル扇本体は直列に接続されていますか？
(11ページ参照)
4. ワイヤロープとクリップは確実に取付けましたか？
(10ページ参照)
5. 本体取付板は確実に取付けましたか？
(7～9ページ参照)
6. 支持台と本体取付板は本体止めネジ2本で確実に固定されていますか？
(11ページ参照)
7. 金属クリップは確実に取付けましたか？
(5ページ参照)
8. 速度調節器の周波数切換スイッチは確実に切り換えられていますか？
(12ページ参照)

試運転チェックシート

1. 速度調節器のダイヤルを回して強、中、弱が確実に切り換わりますか？
2. 弱風で確実に運転できますか？
旋回運転は円滑に動作しますか？
(異常がある場合は、周波数切換スイッチの状態を点検してください。
(12～13ページ参照))

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号